



自防連だより

発行元：八王子市自主防災団体連絡協議会 会員数 431 団体

1 自防連だより第50号発刊にあたり

自防連だよりは、平成17年に市内の自主防災組織の情報交換の場として創刊し、今回で第50号を発刊するに至りました。このたび、第50号の記念号発刊を機に「八王子市自主防災団体連絡協議会だより」は、「自防連だより」を愛称とすることにいたしました。いつ起こるか分からない災害に備え、「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、今後も季刊誌だよりとして、市内の自主防災組織の活動や安心安全なまちづくりに寄与できる情報などを提供してまいります。

自助・共助の精神に基づく自主的な防災活動を推進し、各団体間の協調を基調とした活動に取り組んで参りますので、引き続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

2 八王子市の災害史

「最近、災害が増えてきた気がする・・・」

そう感じている方は、少なくないと思います。では、実際に増えているのか？文明開化のあった明治時代までさかのぼり、八王子市に被害をもたらした災害を振り返ってみましょう。

| 元号 | 西暦 | 期間 | 風水害 | 地震 | 災害発生確率 |
|----|-------------|-------|-----|-------|--------|
| 明治 | 1868年～1912年 | 約44年間 | 3 | 0 | 6.8% |
| 大正 | 1912年～1926年 | 約15年間 | 0 | 1(※1) | 6.7% |
| 昭和 | 1926年～1989年 | 約63年間 | 14 | 1(※2) | 23.8% |
| 平成 | 1989年～2019年 | 約30年間 | 20 | 1(※3) | 70.0% |
| 令和 | 2019年～ | — | 1 | | |

※1 大正12年9月1日関東大震災 ※2 昭和51年6月16日の地震 ※3 平成23年3月11日東北地方太平洋沖地震

災害発生確率は、災害発生回数÷期間で計算（出典：八王子市地域防災計画【別冊】）

数字上の比較となりますが、元号が新しくなるごとに、災害発生確率が上昇していることがわかります。令和は始まったばかりですが、令和元年東日本台風により、八王子市では初となる特別警報が発表され、甚大な被害がもたらされました。

気象庁によると、数十年に一度の降雨量となる大雨が特別警報発表の目安です。しかし、昨今では日本各地で特別警報が発表されており、八王子市でも、再び特別警報が発表される可能性は十分にあります。幸い令和元年東日本台風以降、八王子市では特別警報の発表はありません。

災害が発生していない今だからこそ、あらためて自分の住んでいる地域をハザードマップで確認し、地域特性の理解や避難場所などの把握に努めましょう。また、防災訓練や備蓄品の準備・消費期限の確認などもあわせて行い、災害への備えを整えましょう。

特別警報・警報の発表状況



（出典：「令和元年東日本台風」八王子市の記録）

3 自防連事業報告

| 実施日 | 事業名 | 実施日 | 事業名 |
|----------|---------------|----------|-----------------|
| 1月22日(土) | 第2回特別救命講習会 | 2月16日(水) | [中止]防災講演会(協力事業) |
| 2月5日(土) | 第3回防災指導員育成研修会 | 3月5日(土) | リーダー養成研修 |

今年度はコロナ禍のため、例年よりも参加者を少なくし、実施回数を増やす形で事業を実施して参りました。会員の皆様には、ご不便をお掛けしたと思いますが、たくさんのお申し込み・ご参加をいただき、誠にありがとうございました。

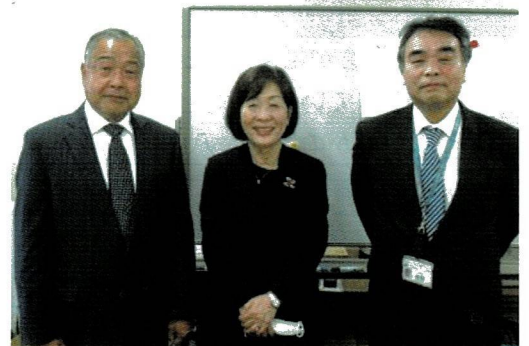
さて、3月5日(土)のリーダー養成研修では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に直面し、苦悩しながらも新たな知恵を生み出しながら災害を乗り越えた草貴子講師にご講演いただきました。地域のリーダーであり、被災者でもある草講師の言葉に、改めて災害の脅威と、日頃から備えをしておくことの大切さを学ばせていただきました。また、草講師が会長を務める市名坂東町内会は、女性が多く活躍し、顔の見える町会として活発に活動されています。参加者は災害の話だけでなく、町会運営についても興味深く耳を傾け、質疑応答の際には、多くの質問が飛び交いました。



リアルな東日本大震災の話に、涙を流す参加者も

年末年始にかけて落ち着きを見せていた新型コロナウイルスですが、令和4年に入り、感染は拡大の一途を辿りました。参加者からは、「新型コロナウイルス感染症に感染することは不安だが、災害は人間の都合を考えてはくれない。コロナ禍でも、貴重な話を聞くことが出来てよかった。」との声もありました。

自防連では、「災害は忘れた頃にやってくる」を念頭に置き、令和4年度も事業を展開して参ります。皆様のご参加、お待ちしております。



左から 遠藤会長・草講師・菅野事務局長

コラム：予期せぬ災害？

令和4年1月15日(土)、トンガの海底火山が噴火したことは記憶に新しいと思います。誰もが予想していなかった大規模災害に世界中が驚きました。日本では当初、遠い国の災害であり、日本に影響はないと思われていましたが、噴火の影響で四国周辺に津波が押し寄せ、多くの漁船が沈んでしまいました。

実は八王子市にも、過去に予期せぬ災害があったことをご存じでしょうか？それは、江戸時代の1817年に起きました。八王子中心街に、大きな隕石が多数落下したのです。当時の人々は、火の玉が降ってきたと大騒ぎになったそうです。この隕石、「八王子隕石」と呼ばれ、日本に落下した隕石で最も大きかった隕石といわれています。隕石、噴火など、予期せぬ災害が発生することもあります。

災害は忘れた頃にやってきて、それは人々の予想を超えてくることもあります。油断せず、日々災害に備えていきましょう。



4 マンション火災における自主避難所の開設について

令和4年1月15日（土）に長沼町で発生した集合住宅の火災において、延焼危険のある住民の避難場所として、町会・自治会の集会所や地区会館を自主避難所として開設・運用した自主防災組織の活動事案を紹介します。

15日（土）の深夜に発生した耐火造6階建てのマンションにおいて、八王子消防署、八王子市消防団のポンプ車及びはしご車等、数十台の車両が出動する延焼火災が発生しました。消防機関は火元からの延焼危険や有毒ガスの発生を考慮し、居住者を全員避難させて住民の安全を確保しました。

地元の自主防災組織である長沼都営自治会防災会の小松会長は、防犯パトロール中に火災を発見し、119番通報を行いました。その後、すぐさま自治会集会所を自主避難所として開設し、避難者受け入れの準備を進めました。長沼町会田代会長にも火災の情報が入り、避難者のために地域にある地区会館を自主避難所として開設しました。

長沼都営自治会防災会の自治会集会所では、実際に避難者の受け入れを行い、温かい食事を提供し、避難者が暖を取りました。地域にある地区会館には避難者は来なかったものの、いつ避難者が来ててもいいように、受け入れ体制を継続しました。

幸いにして死者は発生しませんでした。避難者は着の身、着のまま避難を強いられ、屋外に裸足で避難した方もいました。両名のような冷静な判断力と実行力で、真冬の深夜における火災において、地域の自主避難所を開設したことは、避難者の低体温を防ぐとともに二次被害の防止にも繋がりました。

令和元年に発生した令和元年東日本台風においても、市内の自主防災組織や町会・自治会が約25カ所の自主避難所の開設の活動にあたり、本台風以降、各地域において地震や風水害に備え避難所運営訓練が広まりました。自然災害以外でも、万が一、火災などが起こり多数の避難者が発生した場合においても、地域の防災力を集結させ、自主避難所の開設及び避難者の支援をしていきたいと思います。



八王子消防署長の感謝状(長沼都営自治会防災会)



集会所を開設した小松会長(長沼都営自治会防災会)



地区会館を避難所として開設した田代会長(長沼町会)

5 八王子消防署からのお知らせ

電気火災とは、電気や電気製品にかかわる火災のことをいいます。八王子市内で令和3年中に発生した火災173件のうち、出火原因の1位が電気火災(56件)となっています。電気火災の中でもコード、プラグ、コンセント等に起因する火災は、火災に気づきにくいため大変危険です。

なお、電気製品の「小さなこげ跡」を見つけた場合は、大きな火災につながる場合がありますので、東京消防庁ホームページや公式アプリ内の「東京消防庁版電気製品火災相談ガイド」をご覧になるか、八王子消防署までご相談ください。

〔問合せ先〕 八王子消防署警防課
防災安全係（地域防災担当）
電話 042-625-0119

～電気火災を防ぐポイント～

- 1 プラグはコンセントにしっかり差し込みましょう。
- 2 使用していないプラグは抜いておきましょう。
- 3 プラグやコンセントは定期的に掃除しましょう。
- 4 家具などの下敷き、折れ曲がり要注意しましょう。
- 5 テーブルタップは、決められた容量内で使用しましょう。
- 6 コードは束ねて使用しないようにしましょう。

STOP! 電気火災



市の北西部、高台に 712 世帯が暮らす宝生寺団地では自治会専門部会として自主防災隊が「自分たちの街は自分たちで守る」をモットーに防災、防犯活動を推進しています。自主防災隊は本部、要援護者担当、救出救助班、消火班、防犯担当、広報グループで構成されています。特に力を入れているのは災害弱者である高齢者、障害を持った方、小さなお子様のおられる方など災害時避難のお手伝いが必要な方に登録をしてもらい、災害時避難支援協力員、自治会役員、自主防災隊員の 3 者が協力して支援する体制をとっています。

毎年 5 月に行われる防災訓練では災害時の安否確認が重要と考え、無事、又は避難済を示す白タオルを玄関に掲げてから避難する通称「白タオル作戦」を令和元年から始めました。4 か所ある公園の一時避難場所には全世帯分の安否確認チェックシート、住民に協力をお願いするミッション、筆記用具、感染防止用品などが入ったファーストミッションボックスの他、机、椅子、簡易テント、照明器具、マイクなどが防災倉庫に保管されています。これらの活動をまとめた DVD を作成し毎年替わる自治会役員や、団地内各サークルなどに紹介、周知をはかっています。

コロナ禍前の防災訓練



消火班ではスタンドパイプ、D 級ポンプを活用して定期的に放水訓練を行っている他、お正月のどんと焼きや夏祭り花火の火災予防放水も行っています。団地内の消火器の外観、使用期限点検、消火栓、排水栓の位置確認を毎年行い、配置マップカラー印刷版を関係機関に配布しています。

防犯活動では子供の通学時間に合わせて朝は交通量の多い元木小学校区の横断歩道で交通指導、午後は団地内及び元木、恩方第一小学校周辺を青パト軽トラックでパトロールしています。これらの活動は「自主防災隊通信」として平成 14 年より自治会報と分離して防災意識高揚のため発行しています。

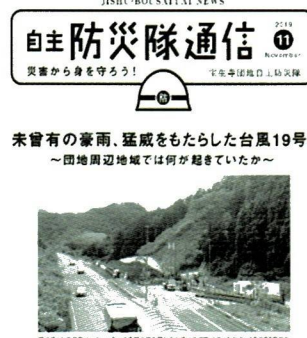
防災イベントだけでなく、日常生活に根づく身近でタイムリーな話題やお願い事項、消火器、住宅用火災警報器、防災ホイッスル（命の笛）などの斡旋販売、自主防災隊活動の裏話など親しみを持っていただける情報誌に心がけています。

コロナ禍で思い通りの活動は出来ませんが感染防止対策をはかりながら、今できることを確実に実行していきます。

「甚大災害に備えて」の DVD 作成



自主防災隊通信の発行



玄関の白タオル(安否確認訓練)

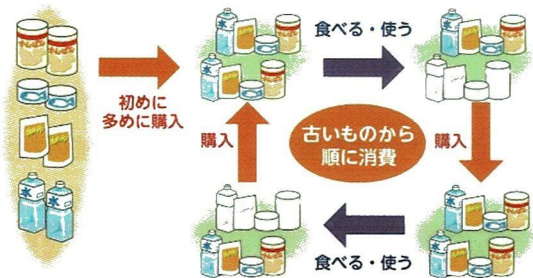


6 「日常備蓄」のすすめ

地震が発生した時は、電気・ガス・水道などの供給が止まるほか、食料や生活必需品の入手が困難になる場合もあります。災害はいつ発生するかわかりません。4月の新たな春を迎え、あらためて備蓄品を確認し用意しましょう。**最低3日分、できれば1週間分！**

新しい備蓄の考え方 ～ローリングストックとは～

普段から使っているものを常に少し多めに備えておき、消費したらその分を補充し、常に一定量の食料・日用品を備蓄する方法を日常備蓄といいます。日常でも使用できるものを多めに購入しておき、消費したらその都度買い足すことで、常に一定量の備蓄ができます。



この方法は、「普段活用しないものを用意

する特別な準備」と考えられていた従来の備蓄に比べ管理・継続がより容易にできます。

また、自分の好みにあった食料を備蓄することもでき、保存期限を過ぎたものを捨てることもなく廃棄ロスを削減することができます。



必要な備蓄品・数量は家族構成やお住まいにより異なります。

東京備蓄ナビで、自分に合った備蓄を調べてみよう！

<https://www.bichiku.metro.tokyo.lg.jp>

東京備蓄ナビ



東京備蓄ナビは3つの質問に答えるだけで、自分の家庭に合わせた備蓄品目と必要量リストが表示されます。この機会に家庭に必要なものを確認してみましょう。

出典：東京都「日常備蓄」で災害に備えよう

7 八王子市防災会議の開催

令和4年2月7日（月）市役所内において、八王子市防災会議が開催されました。本防災会議は、災害対策基本法第16条に基づき、八王子市長が会長を務め、関係行政機関等のほか当協議会の遠藤会長も防災会議委員として出席しました。八王子市防災会議は本市防災会議条例に基づき、49名の委員で構成されており市地域防災計画の修正や本市の防災に関する重要事項を審議するために設置された機関です。



八王子市防災会議 審議状況

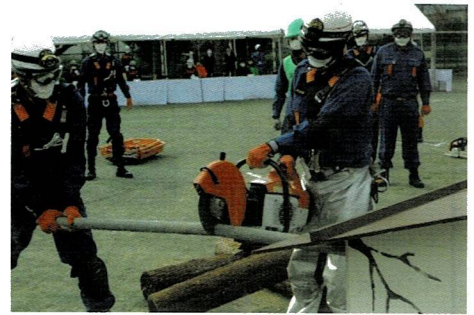
会議では、令和4年度の八王子市総合防災訓練、八王子市・第九消防方面合同水防訓練の実施概要や令和3年中の災害救急状況の報告が行われました。さらに八王子市地区防災計画制度の運用に関する要綱に基づき、2案件の地区防災計画提案書が付議されました。グレースiapark八王子みなみ野自治防災会からは「グレースiapark八王子みなみ野防災計画」、南大沢五丁目防災協議会からは「南大沢五丁目避難所運営マニュアル」が提案され、いずれも本要綱に基づく地区防災計画として認定されました。

また、八王子市地域防災計画の修正について、素案から修正した箇所の説明のほか、パブリックコメント及び東京都との事前協議に伴う修正審議が行われました。

令和4年修正の八王子市地域防災計画は令和4年3月下旬に公表される予定です。是非、この機会に八王子市の防災基本計画を確認してみましょう。

8 まちを守る、地域の絆 八王子市消防団

「自分たちのまちを、自分たちで守る」八王子市消防団は郷土愛の精神に基づき、地域の安心・安全を支えています。八王子市消防団は約 1,350 名の団員からなる防災機関で、普段は地域で暮らしている方や働いている方々です。災害が発生した際には、団長の指揮の下、すべての団員が結束し避難誘導や人命救助などの活動にあたり、各地域の情報を収集し消防署や市役所と協力し合いながら三位一体で対応します。



また、コロナ禍においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、地域を巡回し三密行動を避けるよう呼びかけを実施しました。地域の状況を熟知し、懸命に活動する八王子市消防団は、まさに地域防災の要です。

皆さんの力を貸してください 団員大募集!

八王子市消防団では、団員を随時募集しています。地域の安心・安全のため、さらなる防災力の向上にお力添えをお願いします。募集対象は市内在住・在勤・在学で 18 歳以上の方です。年間一定の金額を報酬として支給し、災害時や訓練などの活動に参加した場合も報酬を支給します。

入団方法など詳しくは下記までお問い合わせください。

〔問合せ先〕八王子市防災課消防担当 電話 042-620-7208



9 事務局からのお知らせ



〔自防連だよりでは、会員の皆様からの寄稿文をお待ちしています。〕

- 他の町会の参考になるような先進的・独自性のある取組
- 大規模な防災訓練や新しい試みの防災活動
- マンション・団地など、高層住宅ならではの防災活動・計画など
皆様の積極的な取組を自主防ネットや記事で紹介させていただきます!

会員の皆様が、地域防災のビッグボスとして活躍するための一助となれるよう、自防連は令和4年度も活動してまいります。皆様のお力添えのほど、よろしくお願いいたします。

〔令和4年度八王子市自主防災団体連絡協議会 定期総会のご案内〕

日時：令和4年5月25日（水）18時00分（開催予定）

場所：八王子エルシィ（八王子市八日町6-7）

※新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、書面開催となる場合があります。

八王子市自主防災団体連絡協議会事務局

問合せ先：市防災課内（電話）042-620-7207（FAX）042-626-1271

電子データを希望の団体は事務局までご連絡ください。

メール：b210300@city.hachioji.tokyo.jp

※電子データを希望された団体は、次号より自動的に電子データをお送りします。